

# 木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

## 地域の方から学んだこと

### 【読み語り ほたるの会の皆様 7月7日(金)】

1年生「うちのねこ・生きもの謎クイズ」 横田 さえ子さん



・犬とねこの眠りの話を聞きました。同じ13時間だけど、ちょっとずつねるのと、まとめてねるのと眠り方が違うことを知りました。

2年生「たなばた」 折河 親子さん

・おりひめがひこぼしに、いっしょうけんめいにアドバイスをするのがおもしろいと思いました。



3年生 「てんぐのかくれみの」  
吉田 直代さん



・てんぐの隠れみのとひこ八の竹筒を交換して隠れみのを着たひこ八が逃げたところがおもしろかったです。隠れみのは手に持っている時は、透明にならないのに体かけると透明になって体が見えなくなるのがおもしろかったです。

4年生 「ほしにむすばれて」  
的場 真砂子さん

・題名の「むすばれて」の言葉はお父さんやお母さんたちは、おじいちゃんやおばあちゃんから、そのまたおじいちゃんやおばあちゃんから結ばれているのだと思いました。心に残るお話でした。



5年生 「まなつのみみず」  
矢原 徳子さん



・みみずが、「あめ」の文字をみんなで作って雨を降らせたところがよかったです。  
・最後の、みみずがほたるの美しい景色を見た場面がきれいでした。  
・みみずが土を作っているのがわかりました。

6年生 「それいけ ズッコケ三人組」  
中元 明美さん

・登場人物の性格がそれぞれ個性的でおもしろかったです。  
・絵を見ることなく、聴いて登場人物像を想像することでよりお話の内容を楽しむことができました。



今回は、子供たちの感想を載せてみました。本に興味関心をもってほしいのは、保護者の皆さんや教職員の願いです。「児童生徒に聞かせたい名言 1 分話」柴山一郎さんの書籍の中にこんな文章がありました。

**すべて良き書物を読むことは、過去の最もすぐれた人々と会話をかわすようなものである。**  
(デカルト フランス・哲学者)

中学2年生の夏のことです。私はひとつの計画を思いつきました。私は幼い時から世界を一周して見知らぬ土地を訪ねる夢をもっていました。その夢が「世界一周読書の旅」という計画を思いつかせたのです。

模造紙に世界地図を書き、一国に一人ずつ作家名を記入し、その作家の代表作を一冊ずつ書き込みました。例えば、ロシアはトルストイで「戦争と平和」、ドイツはゲーテで「若きウェルテルの悩み」、フランスはロマン・ロラン「ジャンクリストフ」といった具合。

夏休みになり早速世界一周の旅へ出発しました。

「どう読むか」は「どう生きるか」です。